

第163期 報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

Business Report



株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当社は令和5年3月31日をもって、第163期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)を終了いたしました。ここに、当社グループの現況などにつきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

取締役社長 三瓶 悦男



◆ 営業の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、交易条件の悪化や海外経済の減速などが下押し要因となったものの、コロナ禍からの社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気の持ち直しが続きました。

世界経済は、エネルギー・食糧価格等の上昇による商品市況の高騰などに起因するグローバルインフレが欧米を中心に高進し、抑制対策の金融引き締めによる政策金利の引き上げに伴い、景気の減速感が強まりました。

国内経済は、感染懸念後退に伴う経済活動制限の緩和や観光支援策による人流の回復基調が堅調に推移する個人消費を押し上げ、年度後半からの水際対策の緩和により、インバウンド需要の回復もみられ、緩やかな回復傾向が続きました。また、半導体等を中心とした供給制約は、自動車等の生産の下押しの要因となりましたが、徐々に解消され、サプライチェーンの混乱は改善傾向にあります。一方で、物価上昇による消費の下振れリスクとともに、ウクライナ情勢の緊迫化や世界的な物価高に伴う金融引き締め政策による海外経済の減速により、不確実性が高まっております。

この間、当社グループの関連する紙・板紙の国内出荷は前年を下回りました。特に新聞用紙や印刷・情報用紙に代表されるグラフィック用紙の需要は減少傾向が続いております。また、紙器用板紙や段ボール原紙、包装用紙等のパッケージ関連分野は、行動制限の緩和による個

人消費の持ち直しと水際対策緩和によるインバウンド需要の回復がありましたが、工業用品向けの出荷が伸び悩みました。また、物価高騰に伴い食品・飲料向けの需要が年度後半に弱まったことにより、前年を下回りました。

このような状況下、国内製紙各社は、グラフィック用紙の需要減少に対して、生産体制の再編成等による国内事業の構造転換を推進するとともに、海外市場への展開とエネルギー事業・新素材事業等の新分野への取り組みを強化しつつあります。

紙パ関連業界を品種別にみますと、印刷用紙はデジタル化や少子化といった構造的な要因による需要の減少が一層進行し、国内出荷は前年を下回りました。情報用紙はテレワークの定着等によりペーパーレス化が進み、オフィス向けPPC用紙の需要が減少したため、前年を下回りました。段ボール原紙は、通販向けは堅調に推移したものの、供給制約や海外経済の減速により工業向けの回復は鈍化し、飲料・加工食品向けは最終製品の値上げの影響により年度後半から需要が弱まり、前年をわずかに下回りました。紙器用板紙は、人流の回復と水際対策の緩和により、土産物向けや化粧品・医薬品向け等が回復基調に推移し、前年を上回りました。また、化成品は、食品向けを中心に堅調に推移しましたが、食品や日用品等の相次ぐ値上げによる買い控え等の個人消費抑制の影響を受け、年度後半以降、出荷が減少傾向に転じました。

経営理念

SPPは革新と挑戦の情熱を持って 時代の変化に対応し社会とともに成長します。

経営方針

- 1 環境に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会づくりへの責任を果たし続けます。
- 2 「支持され」「必要とされ」「選ばれる」会社として成長し続けます。
- 3 「紙」から広がる木質系天然素材の無限の可能性を追求し続けます。
- 4 一人ひとりが志を高く持ち、プロ集団として力を発揮し続けます。

当社グループにおきましては、印刷用紙・特殊紙・情報用紙・パッケージ・化成品の5分野の連携を強化し、社会環境の変化と構造的な需要の減少に対応すべく、企業価値の持続的な拡大と事業の生産性の向上に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高248,635百万円(前期比7.5%増)、経常利益5,990百万円(同6.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,190百万円(同7.9%増)となりました。

▶今後の取り組みについて

紙パルプ産業は、紙・板紙の構造的な需要構造の変化に加え、原燃料価格高騰と急激な円安により経営環境が大きく変化しました。国内製紙各社は、自助努力によるコスト削減を進めるとともに価格修正を実施し、安定供給の確保に取り組んでおります。また、生産体制の再構築等により紙・板紙関連事業の収益を確保するとともに国内の紙の需要減少に対応すべく、生活関連分野や資源・環境関連事業並びに海外事業や新規事業への事業構造の転換を推進しております。

このような環境下において、当社は2022年度よりスタートした第6次中期3ヶ年計画「Growth 2024」— SPPグループ総合力の発揮による市場開拓と用途・商材

開発への挑戦—に基づき、アフターコロナに向けた生活環境の変化による新たな需要に対応し、社会の要望に応える商材の開発・提案を推進してまいります。また、グループ経営資源の活用により市場動向に応じた事業分野別戦略のもと事業拡大を推進し、企業価値の向上を目指してまいります。

一方、環境問題が社会的課題として掲げられるなかで、企業活動における環境負荷低減への取り組みと「紙」「板紙」「フィルム」の横断的な環境対策商材を提供することにより持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

▶株主の皆さまへ

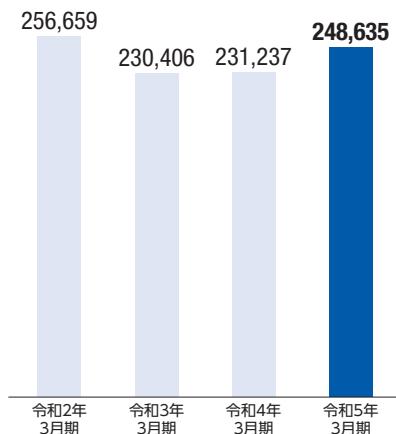
剰余金の配当につきましては、企業価値の最大化を念頭に、健全な財務体質の維持及び積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案しつつ、単年度の業績に左右されない安定した配当を継続する方針であります。

このような方針に基づき、当事業年度の配当につきましては、1株当たり10円(うち中間配当5円)の配当を実施することに決定しました。

連結財務ハイライト

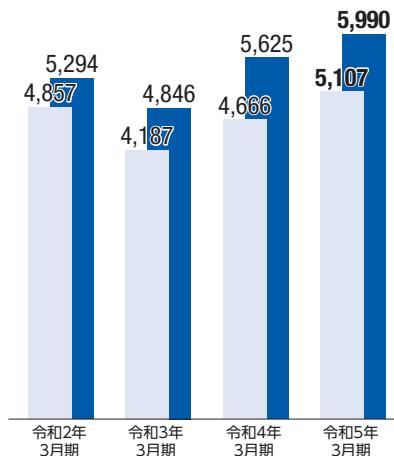
売上高

(単位：百万円)



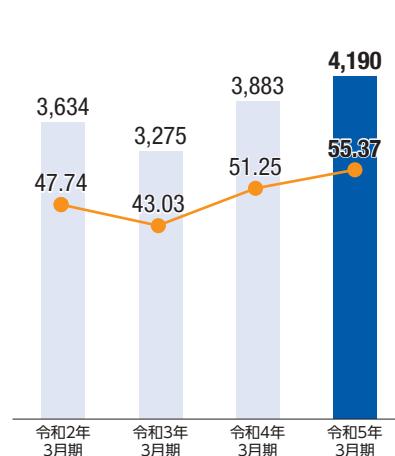
営業利益・経常利益

■ 営業利益 ■ 経常利益 (単位：百万円)



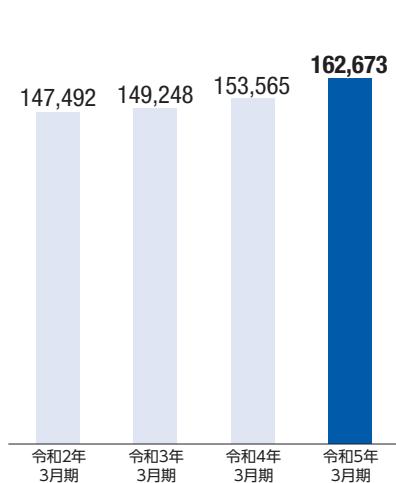
親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益

◆ 1株当たり当期純利益 (単位：百万円・円)



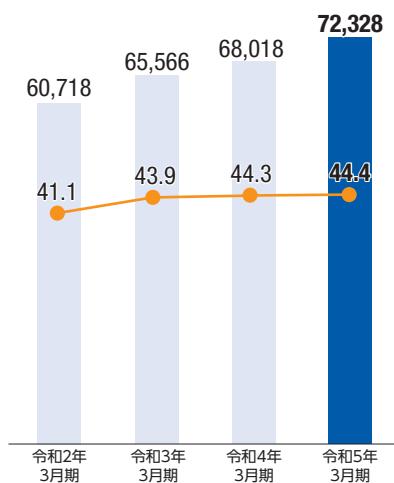
総資産

(単位：百万円)



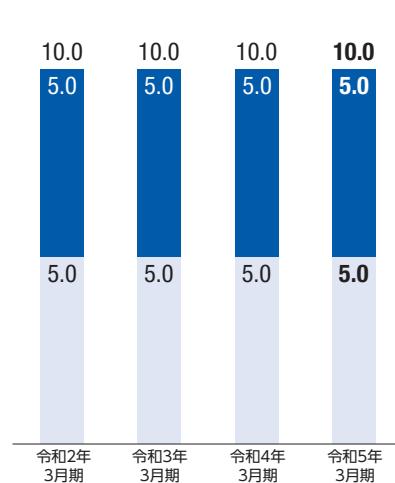
純資産・自己資本比率

◆ 自己資本比率 (単位：百万円・%)



1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位：円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		令和5年3月31日現在	令和4年3月31日現在
資産の部			
流動資産		108,290	102,215
現金及び預金		4,089	7,023
受取手形及び売掛金		87,872	80,645
その他		16,328	14,546
固定資産		54,383	51,350
有形固定資産		22,525	21,471
無形固定資産		667	597
投資その他の資産		31,190	29,281
資産合計		162,673	153,565
負債及び純資産の部			
流動負債		81,732	76,474
支払手形及び買掛金		74,450	68,963
短期借入金		3,915	4,662
その他		3,365	2,848
固定負債		8,613	9,072
負債合計		90,345	85,546
株主資本		63,982	60,530
資本金		3,228	3,228
資本剰余金		1,873	1,853
利益剰余金		60,545	57,111
自己株式		△1,664	△1,663
その他の包括利益累計額		8,293	7,417
非支配株主持分		52	70
純資産合計		72,328	68,018
負債及び純資産合計		162,673	153,565

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		自 令和4年4月 1日 至 令和5年3月31日	自 令和3年4月 1日 至 令和4年3月31日
売上高		248,635	231,237
売上原価		232,928	216,902
売上総利益		15,706	14,335
販売費及び一般管理費		10,599	9,668
営業利益		5,107	4,666
営業外収益		1,022	1,099
営業外費用		140	141
経常利益		5,990	5,625
特別利益		18	800
特別損失		81	606
税金等調整前当期純利益		5,927	5,819
法人税、住民税及び事業税		1,786	1,620
法人税等調整額		△50	307
当期純利益		4,190	3,890
非支配株主に帰属する当期純利益		0	6
親会社株主に帰属する当期純利益		4,190	3,883

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

SEGMENT INFORMATION

セグメント別の概況

当社グループは、当社及び連結子会社12社で構成され、次の3事業を
主な内容として、事業活動をしております。

各事業の概要及び当期の業績は次のとおりであります。

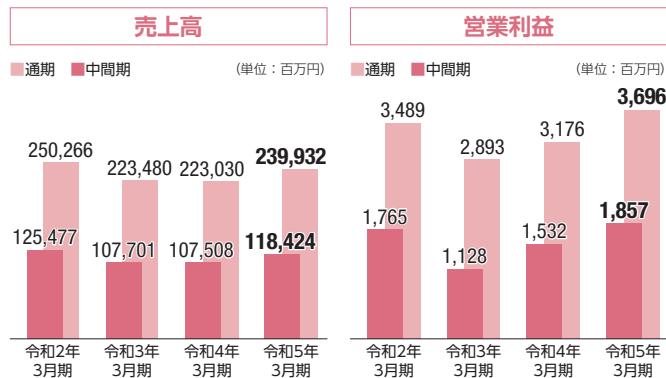
紙・板紙・化成品等卸売関連事業

売上高 **239,932**百万円 営業利益 **3,696**百万円

紙・板紙・化成品等卸売関連事業におきましては、国内向けは、印刷用紙の需要減少により紙の販売数量は前年を下回りました。板紙は、物価高騰により年度後半に需要が落ち込み、販売数量は前年を下回りました。売上高は紙・板紙ともに各品種の価格修正により前年を上回りました。化成品は、食品メーカー各社の値上げ発表が、堅調に推移した食品用途向けの需要に影響を与えたものの、原油価格上昇等による価格改定により、売上高は前年を上回りました。

海外向けは、コロナ禍からの回復及び物流混乱や欧州品の需給逼迫により、米国や東南アジア向けの販売を中心に増加傾向に推移していましたが、年度後半の需要の減退により販売数量は前年を下回りました。売上高は海上運賃高騰と為替の影響により販売価格が上昇し、前年を上回りました。

この結果、紙・板紙・化成品等卸売関連事業の売上高は239,932百万円、営業利益は3,696百万円となりました。



紙加工等関連事業

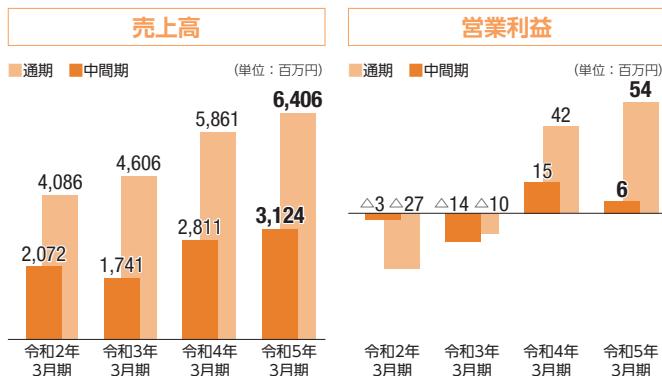
売上高 **6,406**百万円

営業利益 **54**百万円

紙加工等関連事業におきましては、原材料の高騰やユーティリティコストの上昇に伴う販売価格改定に取り組み、売上高が増加しました。

経費面では固定費等の削減により利益確保に努めました。

この結果、紙加工等関連事業の売上高は6,406百万円、営業利益は54百万円となりました。



不動産賃貸関連事業

売上高 **2,271**百万円

営業利益 **1,351**百万円

不動産賃貸関連事業におきましては、所有不動産の有効活用及び維持管理に努めましたが、入居テナントの解約により賃貸料収入が減少し、光熱費上昇等の影響を受け経費が増加しました。

この結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,271百万円、営業利益は1,351百万円となりました。

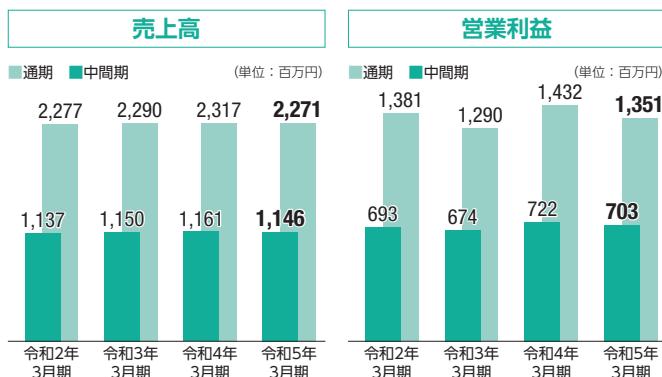
主な所有不動産



SPP銀座ビル
東京都
中央区銀座



新川三幸ビル
東京都
中央区新川



関係会社商品のご案内

株式会社ムロマチ

〒084-0911 北海道釧路市星が浦北3丁目1番5号
TEL 0154-51-6101 FAX 0154-51-9177

株式会社ムロマチは、合成樹脂包装資材の製造並びに販売を主体に1972年の創業以来、地域で唯一のインフレ（フィルム）メーカーとして、半世紀に渡り営業基盤を確立してまいりました。

生産工場として小規模ではありますが、特に品質・納期管理を大切に道内外のお客様の信頼をいただき、日々生産活動を進めております。

(主な取扱商品)

ポリエチレン、ポリプロピレン、ラミネート、成型品、段ボール、美粧印刷紙器、その他梱包資材及び関連機械



製袋工場 (製袋加工機9台)



インフレ工場 (インフレーション成形機5台)

北海紙工業株式会社

〒047-0261 北海道小樽市銭函3丁目524番地15
TEL 0134-61-2550 FAX 0134-62-0303

北海紙工業株式会社は、ポリプロピレンフィルムをメインに、各種プラスチックフィルムの印刷・製袋を行っています。7色グラビア印刷機のほか、サイドシール製袋機、スリッターを設備し、お客様のご要望に柔軟に対応します。主力製品である「FG野菜袋」は、野菜から出る水分を粒状にするため、袋の曇り止めに効果があります。また、生花用のフラワーフィルムやパン・菓子用袋、レジ袋、プラスチックフィルム封筒など透明性の高い製品を得意としています。

(主な取扱商品)

FG野菜袋、レジ袋、ごみ袋、パン・菓子用袋、フラワーパック、フラワーフィルム



防曇フィルム (F&G)

F&G®フィルムは防曇効果をもたせたOPP(2軸延伸ポリプロピレン)フィルムで、優れた透明性と防滴効果のある食品包装用フィルムです。

鮮度保持フィルム (GF)

GFフィルムは、青果物に適度な酸素を与える一方で、二酸化炭素の濃度を上げて呼吸を抑制するという原理に基づき、密封包装により実現した袋内気候によって呼吸コントロールができるMA包装用フィルムです。



7色グラビア印刷機



サイドシール製袋機

ep **小ロット・短納期・高品質**
環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場から
中身を守る安心・安全な製品をお届けいたします。
グラビア印刷・包装資材全般
北海紙工業株式会社
〒047-0261 北海道小樽市銭函3丁目524番地15
TEL 0134-61-2550 FAX 0134-62-0303

障がい者支援活動

パ ラ リ ン ア ー ト

Paralym Art

パラリンアートとは、一般社団法人障がい者自立推進機構が実施する障がい者の芸術的表現を通じて、彼らの社会参加と経済的自立を推進する活動です。

「一人でも多くの障がい者に社会参加のきっかけとビジネスチャンスをお届けすること」が目的であり、それを達成することで「障がい者と健常者の垣根をなくすこと」が最終的なゴールとなります。

当社は、パラリンアートを使ったCSR連動型PR活動として「紙+付加価値」の最大化を図り、総合代理店として各企業の架け橋となり、社会貢献活動の一環として、パラリンアートを全国に広めていこうと考えています。今後も障がい者の社会参加と経済的自立を推進していきます。



株式会社豊田自動織機社内報カレント2023年1月号
[共に輝かせ、輝き続ける](作者 桃太郎さん、描き下ろし作品)

当社が支援するパラリンアートの取り組みのひとつ「パラリンアート世界大会2022」をご紹介します。

本アートコンテストは「障がい者がアートで夢をかなえる世界を作る」という理念を掲げる、一般社団法人障がい者自立推進機構が「世界中の障がいのある方が芸術的才能を披露する、障がい者アートのワールドカップ」と称し2018年から開催され、今回5回目を迎えました。「未来」をテーマにした本大会には日本と世界の25カ国から、合計498点の作品が集まり、11賞14作品が決定しました。

なお、パラリンアート世界大会2022の受賞作品は下記URLよりご覧になれます。

<https://paralymart-wc.com/2022/>



世界大会2022グランプリ作品
Apple Tong (Hong Kong) さん「FUTURE」
従来のパラリンアートに無い個性的な作品です。作者は「殺伐とした巣からカラフルな種が芽生え、明るい未来を期待し描いた」とのことです。

会社情報

商号	新生紙パルプ商事株式会社 SHINSEI PULP & PAPER COMPANY LIMITED
本社及び本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地
創業	明治22年(1889年)11月3日
設立	大正7年(1918年)3月14日
資本金	32億2,800万円
営業品目	紙・パルプ・化成品・紙加工品・建材・ 機械・機器等
従業員	544名

役員

(令和5年6月21日現在)

取締役会長	加藤康次郎	取締役	上田 淳史
代表取締役社長	三瓶 悦男	監査役	井上 眞樹夫
取締役専務執行役員	西岡 宏侍	監査役	森田 好則
取締役常務執行役員	大木 猛	監査役	佐藤 誠一
取締役常務執行役員	鳥羽 登	監査役	望月 健太郎
取締役常務執行役員	重田 栄治		

(注) 取締役 上田淳史氏は社外取締役であります。
監査役 佐藤誠一、望月健太郎の両氏は社外監査役であります。

事務所所在地

本社	〒101-8451
東京本店	東京都千代田区神田錦町1丁目8番地 TEL (03) 3259-5080 (代表) FAX (03) 3233-0991
大阪支店	〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目16番10号 TEL (06) 6262-8800 (代表) FAX (06) 6261-2916
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目9番18号 TEL (052) 584-6200 (代表) FAX (052) 584-6306

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	80,000,000株
株主数	1,013名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	8,605	11.4
北越コーポレーション株式会社	8,530	11.3
特種東海製紙株式会社	3,913	5.2
王子ホールディングス株式会社	3,286	4.3
昭和パックス株式会社	2,613	3.5
株式会社サンエー化研	2,613	3.5
新生紙パルプ商事従業員持株会	2,471	3.3
北越パッケージ株式会社	2,040	2.7
中越パルプ工業株式会社	1,940	2.6
公益財団法人睦育英会	1,300	1.7

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町4番12号 TEL (092) 271-2800 (代表) FAX (092) 271-2810
札幌支店	〒060-0063 札幌市中央区南三条西10丁目1001番地5 TEL (011) 241-2106 (代表) FAX (011) 241-6110
仙台支店	〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目10番1号 TEL (022) 235-6878 (代表) FAX (022) 236-1573
富山支店	〒930-0019 富山市弥生町1丁目10番11号 TEL (076) 441-2866 (代表) FAX (076) 431-5839

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

単元未満株式買取請求及び買増請求

単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人において受付けております。なお、買増請求につきましては3月31日及び9月30日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間お取り扱いを停止いたします。その他、会社が定める一定期間買増請求のお取り扱いを停止する場合がございます。

株券喪失登録

株券を喪失された方は、上記株主名簿管理人において株券喪失登録の手続きを行うことができます。株券喪失登録を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間登録異議もしくは喪失登録の抹消がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。

当社WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや取り扱い商品の紹介等、当社をご理解いただくための様々な情報、また紙に関する豆知識などをご提供しています。是非ご覧ください。



<https://www.sppcl.co.jp>

新生紙パルプ商事

検索



新生紙パルプ商事株式会社

東京都千代田区神田錦町1丁目8番地

TEL : 03-3259-5080 FAX : 03-3233-0991



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。